

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 株式会社デンタス 上場取引所 東
 コード番号 6174 URL <http://www.dentas.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)河野 恭佑
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)大崎 隆 (TEL) (088)657-3115
 定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 —
 発行者情報提出予定日 2025年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	913	6.2	7	—	10	—	28	—
2024年3月期	859	△4.2	△48	—	△45	—	△43	—

(注) 包括利益 2025年3月期 31百万円(—) 2024年3月期 △47百万円(—)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	69 71	— —	403.2	1.9	0.8
2024年3月期	△106 91	— —	△297.6	△7.5	△5.6

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	518	48	4.1	△379 11
2024年3月期	562	16	△1.2	△448 82

(参考) 自己資本 2025年3月期 21百万円 2024年3月期 △7百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	63	29	△48	127
2024年3月期	△19	△30	△48	83

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	— —	0 00	0 00	—	—	—
2025年3月期	— —	0 00	0 00	—	—	—
2026年3月期 (予想)	— —	0 00	0 00		—	

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なるA種類株式(非上場)については、配当を行いません。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,044	14.4	39	440.3	36	252.1	33	18.5	82 67

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 -社 除外 -社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	406,666株	2024年3月期	406,666株
2025年3月期	1,300株	2024年3月期	1,300株
2025年3月期	405,366株	2024年3月期	406,059株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用環境の改善に伴い緩やかな回復基調で推移する一方で、物価上昇の影響による今後の景気悪化懸念が依然残されております。また、アメリカによる各国への関税追加措置による世界経済の混乱、米中貿易摩擦の悪化、ウクライナ情勢等の長期化による世界的な経済活動の停滞と、原油・原材料価格の高騰等、世界経済は引き続き不安定であり、景気の先行きも依然不透明な状況となっております。

また、当社グループが事業を営む歯科関連業界及び日雑業界においても、原材料価格の高騰等により厳しい状況が続いております。

こうした事業環境のもと、当社グループは主力セグメントであるオーラルケア製品製造販売事業及びマウスピース矯正事業の拡大と利益の改善に注力してまいりました。その結果、当連結会計年度において、オーラルケア製品製造販売事業はセグメント利益が黒字に転換、マウスピース矯正事業も順調に契約数を拡大することができました。

以上の結果、売上高につきましては、913,073千円（前年同期比6.2%増）、営業利益は7,234千円（前連結会計年度は営業損失48,513千円）、経常利益は10,365千円（前連結会計年度は経常損失45,731千円）となりました。最終損益については、親会社株主に帰属する当期純利益は28,261千円（前連結会計年度は、親会社株主に帰属する当期純損失43,412千円）となり黒字化を達成致しました。

今後も当社グループは顧客志向に徹した価値ある商品及びサービスの提供に努めてまいります。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

(歯科技工関連事業)

当セグメントの売上高は239,984千円（前年同期比16.9%減）、セグメント損失34,352千円（前連結会計年度はセグメント損失27,637千円）となりました。

・歯科技工

主な売上である歯科技工物の制作については、競争の激化による受注件数の減少及び有限会社マリンドENTALの連結除外*による売上高の減少により、当連結会計年度における売上高については156,184千円（前年同期比24.2%減）という結果になりました。

*連結子会社であった有限会社マリンドENTALについては、2025年1月に全株式を譲渡し非連結化しております。

・歯科技工商品・製品販売

一部商品について、原材料価格の高騰による販売数量の減少及び一部取引先からの受注減少により、当連結会計年度における売上高は47,744千円（前年同期比9.1%減）となりました。

・歯科関連商品販売

AED他、歯科関連商品の販売により、当連結会計年度における売上高は36,055千円（前年同期比19.9%増）となりました。

(オーラルケア製品製造販売事業)

子会社のアイオニック株式会社における、イオン歯ブラシ*を主とするオーラルケア製品の販売増加により、当セグメントの売上高は548,265千円(前年同期比3.4%増)と増加し、加えて原材料の見直し等、コスト削減施策が奏功し、セグメント利益が20,561千円と黒字化を達成致しました(前連結会計年度はセグメント損失11,317千円)。

*イオン歯ブラシ：内蔵されたりチウム電池から10~50マイクロアンペア(100万分の10~50アンペア)の微弱電流(マイナスイオン)を流して、虫歯・歯周病・口臭の原因となる「歯垢」を効率的に取り除く歯ブラシ

(マウスピース矯正事業)

2023年より開始したマウスピース矯正事業が順調に契約数を伸ばしており、当セグメントの売上高は124,823千円(前年同期比206.1%増)、セグメント利益は49,689千円(前年同期比160.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債および純資産の状況は、次のとおりであります。

(ア) 流動資産

流動資産は375,598千円となり、前連結会計年度末と比較して、22,695千円減少(前期末比5.7%減)しました。主な科目の増減及び増減理由は次のとおりであります。

- ・現金・預金が前連結会計年度末から43,978千円増加する一方、売掛金が38,143千円減少したことによるものであります。

(イ) 固定資産

固定資産は142,471千円となり、前連結会計年度末と比較して21,946千円減少(前期末比13.3%減)しました。主な科目の増減及び増減理由は次のとおりであります。

- ・有形固定資産が25,594千円減少しました。

これは主に、減価償却が進んだこと及び有限会社マリンデンタルの非連結化によるものであります。

- ・無形固定資産が3,918千円増加しました。

これは主に、ソフトウェアの購入によるものであります。

(ウ) 流動負債

流動負債は317,228千円となり、前連結会計年度末と比較して15,126千円減少(前期末比4.6%減)しました。主な科目の増減及び増減理由は次のとおりであります。

- ・新規借入により短期借入金が50,000千円増加しております。
- ・1年内返済予定の長期借入金が44,886千円減少しております。

これは金融機関への返済が進んだことによるものであります。

(エ) 固定負債

固定負債は152,705千円となり、前連結会計年度末と比較して61,319千円減少（前期末比28.7%減）しました。主な科目別増減及び増減理由は次のとおりです。

- ・長期借入金が前連結会計年度末から61,281千円減少しました。

これは主に、金融機関への返済が進んだことによるものであります。

(オ) 純資産

純資産は48,136千円となり、前連結会計年度末と比較して31,804千円増加しました。

これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益28,261千円の計上によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して43,978千円増加し、127,314千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は63,326千円（前年同期は使用した資金は19,357千円）となりました。これは主に、減価償却費の計上23,828千円、売上債権の減少による資金の増加37,826千円、及び税金等調整前当期純利益の計上32,753千円などがあったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は29,011千円（前年同期は使用した資金30,713千円）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入46,124千円があった一方、有形固定資産の取得による支出11,287千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は48,352千円（前年同期は使用した資金は48,443千円）となりました。これは主に、短期借入金の増加50,000千円及び長期借入れによる収入7,500千円があった一方で、長期借入金の返済による支出104,440千円などがあったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年3月期において、歯科技工関連事業については、引き続き新たな販売先の開拓と既存販売先からの受注拡大に注力するものの、歯科技工材料の高騰やそれに伴う原材料不足の影響等もあり、売上高は当面横ばいで推移するものと考えております。

また、オーラルケア製品製造販売事業については、当連結会計年度において黒字化を達成し、2026年3月期は新製品の開発、SNS等を活用した新たな販路の開拓及び新たな人材の獲得等、将来の成長に向けた積極的な投資に注力してまいります。

また、マウスピース矯正事業については、当連結会計年度においても順調に契約数を伸ばしており、今後も提携クリニックの増加と顧客満足度の向上を目指すことにより収益を拡大し、グループ利益に

貢献するものと見込んでおります。

これらの結果、次期(2026年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高1,044百万円、営業利益39百万円、経常利益36百万円、親会社株主に帰属する当期純利益33百万円を見込んでおります。

当社グループは、今後も顧客のニーズを最優先に考えることにより、顧客の満足度を高め長期的な関係を構築することを目指してまいります。歯科技工関連事業及びオーラルケア製品製造販売事業においては新たな販路の獲得と製造コスト等の見直しによる利益率の向上を図るとともに、マウスピース矯正事業の収益拡大、その他歯科関連ビジネスを中心とする新たな収入源となる新規事業の創出に努めてまいります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、重要な営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しておりました。当連結会計年度においては黒字化を達成したものの、将来にわたる収益の安定化と財務健全性の確保には未だ一定の期間を要するものと考えられます。

当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消し又は改善すべく、以下の対応策に取り組み、安定した収益基盤の確立、コスト削減および資金調達等による、財務基盤の強化を目指してまいります。

具体的には次のとおりであります。

1. 既存事業である歯科技工関連事業、オーラルケア製品製造販売事業及びマウスピース矯正事業の収益拡大と利益率の向上を目指し、さらに新規事業として歯科関連ビジネスの立ち上げと育成にも努めてまいります。
2. イオン歯ブラシの製造販売を行っているアイオニック株式会社との連携によって、収益基盤の拡大とシナジー効果の創出に努めてまいります。
3. 主要取引先であり、前述のアイオニック株式会社への共同出資を実施した株式会社シケンと引き続き緊密に連携し、収益拡大を図ってまいります。
4. 人件費を含めた経費の全面的見直しを実施、不採算部門の縮小等リストラチャリングを積極的に推進し、キャッシュ・フローの最大化を目指してまいります。
5. 財務状態の改善を目指し、新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めてまいります。

以上の対応策を中心とした経営の効率化を図り、安定的な収益基盤を構築すべく努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、計画が全て順調に推移するとは限らず、不測の事態も考えられることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外からの資金調達を行っていないことから、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,335	127,314
受取手形及び売掛金	130,753	87,987
電子記録債権	34,204	21,091
商品及び製品	29,124	36,063
仕掛品	5,380	4,876
原材料及び貯蔵品	110,507	84,367
その他	18,233	21,030
貸倒引当金	△13,245	△7,132
流動資産合計	398,293	375,598
固定資産		
有形固定資産		
建物	227,261	205,847
減価償却累計額	△172,227	△154,282
建物(純額)	55,034	51,565
機械装置及び運搬具	396,249	392,067
減価償却累計額	△376,955	△381,205
機械装置及び運搬具(純額)	19,294	10,862
工具、器具及び備品	373,798	370,664
減価償却累計額	△344,517	△346,941
工具、器具及び備品(純額)	29,281	23,723
リース資産	37,891	7,284
減価償却累計額	△35,751	△6,428
リース資産(純額)	2,140	856
土地	48,352	41,500
有形固定資産合計	154,101	128,506
無形固定資産		
ソフトウェア	3,687	7,605
借地権	4,900	4,900
無形固定資産合計	8,587	12,505
投資その他の資産		
破産更生債権等	121,954	122,832
その他	1,730	1,459
貸倒引当金	△121,954	△122,832
投資その他の資産合計	1,730	1,459
固定資産合計	164,418	142,471
資産合計	562,712	518,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,523	46,401
短期借入金	100,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	104,503	59,617
リース債務	1,412	941
未払金	23,895	19,491
未払法人税等	938	823
未払消費税等	11,778	10,849
前受金	—	6,222
賞与引当金	5,167	9,147
その他	19,137	13,734
流動負債合計	332,355	317,228
固定負債		
長期借入金	183,952	122,671
リース債務	941	—
繰延税金負債	3,754	3,424
退職給付に係る負債	23,336	24,570
資産除去債務	2,040	2,040
固定負債合計	214,025	152,705
負債合計	546,380	469,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	67,984	67,984
資本剰余金	30,000	30,000
利益剰余金	△105,105	△76,844
株主資本合計	△7,120	21,140
非支配株主持分	23,452	26,995
純資産合計	16,331	48,136
負債純資産合計	562,712	518,070

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	859,872	913,073
売上原価	593,191	601,242
売上総利益	266,680	311,830
販売費及び一般管理費	315,194	304,596
営業利益又は営業損失(△)	△48,513	7,234
営業外収益		
受取利息	1	53
受取配当金	2	2
為替差益	556	—
作業くず売却益	4,516	8,380
助成金収入	160	—
その他	5,625	2,932
営業外収益合計	10,861	11,368
営業外費用		
支払利息	7,100	6,991
その他	979	1,245
営業外費用合計	8,080	8,237
経常利益又は経常損失(△)	△45,731	10,365
特別利益		
子会社株式売却益	—	22,387
固定資産売却益	19	—
貸倒引当金戻入	50	—
特別利益合計	69	22,387
特別損失		
貸倒引当金繰入額	393	—
特別損失合計	393	—
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△46,055	32,753
法人税、住民税及び事業税	1,782	1,279
法人税等調整額	△761	△330
法人税等合計	1,021	948
当期純利益又は当期純損失(△)	△47,076	31,804
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△3,663	3,543
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△43,412	28,261

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△47,076	31,804
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	—
その他の包括利益合計	—	—
包括利益	△47,076	31,804
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△43,412	28,261
非支配株主に係る包括利益	△3,663	3,543

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	67,984	30,000	△61,692	36,292
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△43,412	△43,412
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	△43,412	△43,412
当期末残高	67,984	30,000	△105,105	△7,120

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	27,116	63,408
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)		△43,412
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,663	△3,663
当期変動額合計	△3,663	△47,076
当期末残高	23,452	16,331

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	67,984	30,000	△105,105	△7,120
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益			28,261	28,261
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	28,261	28,261
当期末残高	67,984	30,000	△76,844	21,140

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	23,452	16,331
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純利益		28,261
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,543	3,543
当期変動額合計	3,543	31,804
当期末残高	26,995	48,136

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△46,055	32,753
減価償却費	31,198	23,828
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,820	△4,757
賞与引当金の増減額(△は減少)	387	3,980
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,520	1,233
受取利息及び受取配当金	△4	△56
助成金収入	△160	—
支払利息	7,100	6,991
子会社株式売却益	—	△22,387
固定資産売却益	△19	—
売上債権の増減額(△は増加)	△43,231	37,826
棚卸資産の増減額(△は増加)	15,613	17,196
仕入債務の増減額(△は減少)	5,434	△16,160
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△43	△878
その他	6,408	△7,105
小計	△12,070	72,465
利息及び配当金の受取額	4	56
助成金の受取額	1,102	—
利息の支払額	△5,909	△8,171
法人税等の支払額	△2,483	△1,023
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19,357	63,326
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,628	△11,287
有形固定資産の売却による収入	19	—
無形固定資産の取得による支出	△2,133	△5,886
長期貸付金の回収による収入	910	60
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	46,124
その他	119	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,713	29,011
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	50,000
長期借入れによる収入	40,000	7,500
長期借入金の返済による支出	△136,609	△104,440
リース債務返済による支出	△1,834	△1,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,443	△48,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△98,461	43,978
現金及び現金同等物の期首残高	181,797	83,335
現金及び現金同等物の期末残高	83,335	127,314

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において、重要な営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しておりました。当連結会計年度においては黒字化を達成したものの、将来にわたる収益の安定化と財務健全性の確保には未だ一定の期間を要するものと考えられます。

当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消し又は改善すべく、以下の対応策に取り組み、安定した収益基盤の確立、コスト削減および資金調達等による、財務基盤の強化を目指してまいります。

具体的には次のとおりであります。

1. 既存事業である歯科技工関連事業、オーラルケア製品製造販売事業及びマウスピース矯正事業の収益拡大と利益率の向上を目指し、さらに新規事業として歯科関連ビジネスの立ち上げと育成にも努めてまいります。
2. イオン歯ブラシの製造販売を行っているアイオニック株式会社との連携によって、収益基盤の拡大とシナジー効果の創出に努めてまいります。
3. 主要取引先であり、前述のアイオニック株式会社への共同出資を実施した株式会社シケンと引き続き緊密に連携し、収益拡大を図ってまいります。
4. 人件費を含めた経費の全面的見直しを実施、不採算部門の縮小等リストラクチャリングを積極的に推進し、キャッシュ・フローの最大化を目指してまいります。
5. 財務状態の改善を目指し、新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めてまいります。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 2社

株式会社DSソリューション

アイオニック株式会社

有限会社マリンデンタルについては、2025年1月31日付で当社が所有する同社株式の全てを譲渡したため、2024年10月1日をみなし譲渡日として連結子会社の範囲から除外しております。

2. 連結子会社の事業年度等に関する事項

すべての連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「歯科技工関連事業」、「オーラルケア製品製造販売事業」及び「マウスピース

ス矯正事業」の3つを報告セグメントとしております。「歯科技工関連事業」は提携歯科技工所及び歯科クリニックから依頼される歯科技工物の製作受注を中心に、歯科技工関連商品（歯科技工材料、歯科技工機械）の販売も実施しております。「オーラルケア製品製造販売事業」は、イオン歯ブラシの製造販売を中心に、オーラルケア製品の製造販売を行っております。また「マウスピース矯正事業」はマウスピース矯正サービスを提供する提携歯科クリニックに対し、マウスピース等の歯科技工製品に関する技術的アドバイス及びサポート業務を実施しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	歯科技工関連 事業	オーラルケア 製品製造販売 事業	マウスピース 矯正事業			
売上高						
歯科技工	206,060	—	—	206,060	—	206,060
歯科技工商品・製品販売	52,523	—	—	52,523	—	52,523
歯科関連商品販売	30,080	—	—	30,080	—	30,080
オーラルケア製品製造販売	—	530,425	—	530,425	—	530,425
マウスピース矯正サービス	—	—	40,782	40,782	—	40,782
顧客との契約から生じる収益	288,663	530,425	40,782	859,872	—	859,872
その他収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	288,663	530,425	40,782	859,872	—	859,872
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
合計	288,663	530,425	40,782	859,872	—	859,872
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△27,637	△11,317	19,046	△19,907	△28,605	△48,513
セグメント資産	120,848	440,082	—	560,930	1,781	562,712
その他の項目						
減価償却費	5,937	25,261	—	31,198	—	31,198
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,727	30,034	—	31,761	—	31,761

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△28,605千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額1,781千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない子会社の現預金であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	歯科技工関連 事業	オーラルケア 製品製造販売 事業	マウスピース 矯正事業			
売上高						
歯科技工	156,184	—	—	156,184	—	156,184
歯科技工商品・製品販売	47,744	—	—	47,744	—	47,744
歯科関連商品販売	36,055	—	—	36,055	—	36,055
オーラルケア製品製造販売	—	548,265	—	548,265	—	548,265
マウスピース矯正サービス	—	—	124,823	124,823	—	124,823
顧客との契約から生じる収益	239,984	548,265	124,823	913,073	—	913,073
その他収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	239,984	548,265	124,823	913,073	—	913,073
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
合計	239,984	548,265	124,823	913,073	—	913,073
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△34,352	20,561	49,689	35,898	△28,664	7,234
セグメント資産	112,321	404,670	—	516,991	1,078	518,070
その他の項目						
減価償却費	4,875	18,953	—	23,828	—	23,828
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7,583	9,590	—	17,173	—	17,173

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△28,664千円は、各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額1,078千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社
 資産は、主に報告セグメントに帰属しない子会社の現預金であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	△448.82円	△379.11円
1株当たり当期純利益又は 当期純損失(△)	△106.91円	69.71円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
1株当たり純資産額		
純資産の部の合計額(千円)	16,331	48,136
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	198,271	201,814
(うち種類株式の払込金額(千円))	(174,818)	(174,818)
(うち非支配株主持分(千円))	(23,452)	(26,995)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	△181,939	△153,678
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	405,366	405,366

3 1株当たり当期純利益又は当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△43,412	28,261
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△43,412	28,261
普通株式の期中平均株式数(株)	406,059	405,366
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の 概要	—	—

4 1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、1,300株であります。

また、1株当たり当期純利益又は当期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度は607株、当連結会計年度は1,300株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。